

無料診断で経営改善

日本生産性本部

自社の強みや弱みを客観的に知り、今後の戦略を立てるための有効手段が経営コンサルタントの導入だ。しかし、導入には相応のコストがかかるため二の足を踏む事業者も多

い。そんな敷居の高いコンサルを無料で行う制度がある。日本生産性本部（牛尾治朗会長）による無料経営診断だ。三重県の中田商事はこの

実習の場を提供することにより、無料で経営診断を行うというもの。春と秋の2回行われ、受講生は金融機関の若手社員が多いという。実習

果の報告会を行う。中田商事では11月28日から今月7日まで調査が実施された。そして8日の報告会では、売り上げが一貫して増加傾向

かして機会をモノにし収益性の改善を図るよう提案した。各部門別では、例えば倉庫部門は出入庫管理表が作成されていない点を指摘。管理表の作成に加えロケーション管理と動線を簡略化するよう勧めた。人事部門では、考課基準表や賃金表はきめ細かく策定されており完成度が高いと評価。人材育成と生産性アップのためのスキル管理表を導入するようアドバイスした。その他、管理会計の高

度化、中期経営計画の策定などが提案された。報告を受けた中田社長は「大変参考になった。無料でここまで診断してもらえるのはありがたい」と喜んだ。今回インストラクターを務めた檜作昌史氏は、「調査を進める中で管理指標やデータなどがきちんと管理されており、さらに乗務員に時給制を採用するなど、従来型の運送業のイメージとまるで違うことをやるうとして

中田商事「大変参考になった」

ほど、10日間の無料診断を受け、「目からウロコが落ちた思い」（中田純一社長）だという。

の際には、プロの指導のもと、10人前後の班で編成する実習生が企業へ約10日間出向き、社長ほか幹部へのインタビュー、従業員の意識調査、現場の調査、各種資料の調査・分析を行い、最終日に診断結

にある同社の「強み」と収益性が低い「弱み」、運送・産廃運搬・倉庫を組み合わせた複合一貫サービスの「機会」と規制緩和

による競合先の増加などの「脅威」を図式化したSWOT分析を明示。強みを生

いる会社だということが分かり驚いた。実習生も非常に勉強になったと思う」と述べた。（加藤 崇）



報告会の様子

無料経営診断は、同本部が主催する「経営コンサルタント養成講座」の受講者に企業が経営診断

料の調査・分析を行い、最終日に診断結

析を明示。強みを生

の他、管理会計の高

述べた。（加藤 崇）